

# 平成 26 年度（第 46 年度）事業報告

## 1. 概況

平成 26 年度は、評議員、理事、監事、学術委員全員が任期満了を迎え改選された。

平成 26 年度の助成事業として、研究助成金は 1 件 200 万円を 50 名に、海外留学補助金は 1 件 200 万円を 10 名にそれぞれ交付し、交付総額は 1 億 2,000 万円となった。

第 45 回研究報告会を開催し、最優秀理事長賞（表彰状および副賞 100 万円）2 件と、竹中奨励賞（表彰状および副賞 50 万円）1 件を授与した。さらに、発表者の相互投票に基づく優秀発表賞を試行し 3 件に表彰状を授与した。副賞の総額は 250 万円であった。

ワーキンググループの議論により海外留学助成事業の改革案をまとめ、第 1 回定例学術委員会／第 3 回定例理事会におけるコメントについて検討した上で、交付金額の増額、面接による二次選考等を盛り込んだ平成 27 年度海外留学助成事業実施要領を策定した。

## 2. 運営について

### 1) 第 1 回定例理事会 平成 26 年 6 月 7 日開催

第 1 号議案：平成 25 年度事業報告、収支報告の件

⇒評議員会への上程を承諾

第 2 号議案：任期満了に伴う次期理事・監事 推薦の件

⇒評議員会への上程を承諾

第 3 号議案：任期満了に伴う学術委員選出の件

⇒重任 24 名：稲葉俊哉、井上将行、今井由美子、上杉志成、上田啓次、大嶋孝志、小川佳宏、尾崎紀夫、笠井清登、熊ノ郷 淳、後藤由季子、佐々木雄彦、塩見美喜子、高柳 広、竹居孝二、徳山英利、根岸 学、舩森直哉、南 雅文、三輪聡一、柳田素子、山下敦子、山本一夫、若槻壮市の各氏

新任 4 名：浦野泰照、糸 昭苑、中澤 徹、別役智子の各氏

計 28 名を承認

第 4 号議案：事務局長選任の件

⇒新事務局長（茅切 浩氏）を承認

第 5 号議案：平成 26 年度選考委員選任の件

⇒選考委員候補者 39 名全員を承認（理事は定時評議員会の承認が前提）

第 6 号議案：研究報告会での研究成果発表者相互投票の件

⇒ワーキンググループ提案を一部修正して承認

第 7 号議案：平成 26 年度定時評議員会招集の件 ⇒ 承認

第 8 号議案：理事長、専務理事 業務執行報告 ⇒ 承認

### 2) 定時評議員会 平成 26 年 6 月 23 日開催

第 1 号議案：任期満了に伴う次期評議員選任の件

⇒重任 5 名：相川直樹、長嶋憲一、中村正彦、野木森雅郁、野田哲生の各氏

新任 5 名：大隅典子、岡島悦子、須田年生、土井健史、長澤寛道の

各氏、  
計 10 名を承認

第 2 号議案：任期満了に伴う次期理事・監事選任の件

⇒理事重任 9 名：内田 渡、小川久雄、堅田利明、門脇 孝、倉智嘉久、  
児玉龍彦、後藤由季子（学術委員兼任）、中里雅光、藤井信孝の各氏  
理事新任 5 名：一條秀憲、大谷直子、袖岡幹子、竹内 誠、中山俊憲の  
各氏、

計 14 名を承認

⇒監事重任 1 名：大山悦夫氏、新任 1 名：大谷 剛氏の計 2 名を承認

第 3 号議案：平成 25 年度事業報告、収支報告の件 ⇒ 承認

第 4 号議案：平成 26 年度第 1 回定例理事会報告の件 ⇒ 承諾

第 5 号議案：平成 25 年度報告を聞いての今後の財団活動の方向性について

⇒若手研究者の海外留学の本財団としての支援策について意見交換

3) 第 1 回臨時評議員会 平成 26 年 6 月 23 日開催

第 1 号議案：評議員会長選定の件

⇒野木森雅郁氏を評議員会長に選定

4) 第 1 回臨時理事会 平成 26 年 6 月 30 日書面開催

第 1 号議案：代表理事（理事長）、業務執行理事（専務理事）選定の件

⇒児玉龍彦氏を代表理事に、内田 渡氏を業務執行理事に選定

5) 臨時学術委員会 平成 26 年 7 月 1 日書面開催

第 1 号議案：学術委員会会長選定の件

⇒後藤由季子氏を学術委員会会長に選定

6) 臨時選考委員会 平成 26 年 7 月 4 日書面開催

第 1 号議案：選考委員長選定の件

⇒門脇 孝氏を選考委員長に選定

7) 選考委員会 平成 26 年 10 月 18 日開催

第 1 号議案：平成 26 年度研究助成金および海外留学補助金交付者・交付総額の件

⇒平成 26 年度研究助成金交付候補者 50 名、交付総額 1 億円および  
海外留学補助金交付候補者 10 名、交付総額 2,000 万円を決定し、  
理事会へ答申

8) 第 2 回定例理事会 平成 26 年 10 月 18 日開催

第 1 号議案：平成 26 年度研究助成金および海外留学補助金交付者・交付総額の件

⇒平成 26 年度研究助成金および海外留学補助金の交付者と交付総額に  
関する選考委員会の提案を承認

第 2 号議案：優秀発表賞試行の経緯と今年度の実施要領 ⇒ 承認

第 3 号議案：雑誌「選択」の記事に関する理事長見解 ⇒ 承諾

9) 第 2 回臨時理事会 平成 26 年 11 月 28 日書面開催

第 1 号議案：後任監事候補推薦の件

⇒大山悦夫監事の後任監事候補者として古川康信氏を推薦する事を承認

第 2 号議案：「後任監事選任の件」を議案とする臨時評議員会招集の件 ⇒ 承認

10) 第 2 回臨時評議員会 平成 26 年 12 月 5 日書面開催

第1号議案：後任監事選任の件

⇒大山悦夫監事の後任者として古川康信氏を承認（任期は平成27年1月1日から平成28年6月の定時評議員会終結の時まで）

11) 第1回学術委員会 平成27年2月7日開催

第1号議案：海外留学助成事業の改革の件 ⇒ 承諾

第2号議案：平成27年度海外留学助成事業の実施要領の件

⇒ 会議で出されたコメントについてワーキング・グループと理事長でさらに検討することを条件に承諾

第3号議案：平成27年度研究助成事業の実施要領の件 ⇒ 承諾

第4号議案：学術委員候補者の件 ⇒ 理事長が継続的に議論していく旨を説明

12) 第3回定例理事会 平成27年2月7日開催

第1号議案：平成26年度事業報告、仮収支報告の件 ⇒ 承認

第2号議案：平成27年度事業計画、収支予算書の件 ⇒ 承認

第3号議案：海外留学助成事業の改革の件 ⇒ 承認

第4号議案：平成27年度海外留学助成事業の実施要領の件

⇒ 会議で出されたコメントについてワーキング・グループと理事長でさらに検討することを条件に承認

第5号議案：平成27年度研究助成事業の実施要領の件 ⇒ 承認

第6号議案：平成27年度研究報告会開催の件 ⇒ 承認

第7号議案：理事長、専務理事の業務執行報告の件 ⇒ 承諾

第8号議案：学術委員候補者の件 ⇒ 理事長が継続的に議論していく旨を説明

3. 事業について

1) 助成事業

平成26年10月18日開催の選考委員会および第2回定例理事会の決定に基づき、研究助成金受領者50名（内、女性14名）に対し1件200万円、計1億円を交付した。海外留学補助金については、受領者10名（内、女性3名）を確定し、1件200万円、計2,000万円を交付した。交付総額は、1億2,000万円であった。辞退者は8名（内、集計順位10位以内は5名）で、その内3名は日本学術振興会海外特別研究員としての採用内定、5名は他の助成機関からの200万円超の助成の内定が辞退理由であった。詳細は表1～表3に記載。（p5～p7）

ワーキンググループの議論により海外留学助成事業の改革案をまとめ、第1回定例学術委員会および第3回定例理事会における議論を織り込んで、平成27年度海外留学助成事業の実施要領を最終化した。平成26年度からの主な改訂点を下表にまとめる。

■ 平成 26 年度海外留学助成事業実施要領からの主な改訂点

	平成 26 年度	平成 27 年度
応募資格	初めての 1 年以上の留学に限定	2 回目以降であっても、1 年以上の海外留学を支援。
選考方法	申請書評価のみ	申請書評価の合格者に、二次選考として面接を実施し、意欲や適性を確認すると共に、選考委員から直接激励する。
交付額	200 万円／件	200～400 万円／件 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 留学 1 年目に留学先／国内所属機関からの収入が無い場合は 400 万円交付。</li> <li>• 上記収入がある場合はその半分を 400 万円から減額するが、最低でも 200 万円は交付。</li> <li>• 減額を受けた受領者に特段の事情がある場合は、総額 400 万円を上限に加算を検討。</li> </ul>
研究成果報告義務	研究経過・成果報告書提出	本財団が主催する非公開の報告会での研究成果の発表を追加。

## 2) 研究報告会の開催

平成 25 年度（第 45 回）研究助成金受領者による研究報告会を、平成 26 年 10 月 18 日（土）に日本工業倶楽部会館（東京都千代田区丸の内 1-4-6）にて開催した。受領者総数は 52 名、当日の出席者は 51 名、欠席者は 1 名であった。欠席理由は海外学会出席のため、欠席者からは発表内容の研究報告書を事前に受領した。

選考委員から各会場で最も優秀な研究であると認められた 2 件に最優秀理事長賞（1 件に対し表彰状と副賞 100 万円）を授与した。

選考委員から将来が期待される若手研究者として最も多くの推薦を受けた 1 名に竹中奨励賞（表彰状と副賞 50 万円）を授与した。

今年度からの新たな試みとして、発表者の相互投票を基に、担当選考委員による推薦、選考委員長と学術委員会長による確認を経て優れた研究発表 3 件を選び、優秀発表賞（表彰状のみ）を授与した。

各褒賞受賞者を訪問し、表彰状と副賞（優秀発表賞は表彰状のみ）をお届けした。

各褒賞受賞者は、表 4～表 6 に記載。（p8）

研究報告会プログラムを p9～p12 に掲載。

## 3) 第 44 回助成研究報告集刊行

平成 24 年度（第 44 年度）研究助成金受領者からの研究報告をまとめた「第 44 回助成研究報告集」を平成 27 年 3 月に完成した。（平成 27 年 4 月 1 日に財団ホームページに掲載）

表 1. 平成 26 年度（第 46 回）研究助成金・海外留学補助金申請数および受領者数

項目	申請者数 (女性数)	受領者数 (女性数)	交付金額(万円)
研究助成金	611名 (114名)	50名 (14名)	10,000(200 x 50)
海外留学補助金	184名 (17名)	10名 (3名)	2,000(200 x 10)
総計	795名 (131名)	60名 (17名)	12,000

表 2. 平成 26 年度（第 46 回）研究助成金受領者一覧（五十音順・敬称略）

No.	氏名	所属機関(交付時)	研究テーマ
1	有澤 美枝子	東北大学大学院 薬学研究科 分子設計化学分野	医薬品合成のための可逆的遷移金属触媒フッ素化反応
2	有本 博一	東北大学大学院 生命科学研究科 分子情報化学分野	個体の寿命を制御する内因性分子の研究
3	池田 真理子	神戸大学大学院 医学研究科 こども急性疾患学	先天性肺嚢胞性疾患の体細胞変異による発症機構の解明
4	猪子 誠人	愛知県がんセンター研究所 腫瘍医化学部	中心小体の構造変化に根差した分化増殖への人的介入
5	入子 英幸	神戸大学大学院 保健学研究科 国際保健学領域 感染症対策分野	マラリア原虫のヘモグロビン輸送・代謝の分子基盤
6	植田 浩史	東北大学大学院 薬学研究科 医薬製造化学分野	有機合成を基盤とするエピゲノム創薬への挑戦
7	植松 智	東京大学 医科学研究所 国際粘膜フクチン開発研究センター 自然免疫制御分野	放射線障害における腸管常在性好酸球の役割
8	牛込 恵美	京都府立医科大学大学院 医学研究科 内分泌代謝内科学	糖尿病患者の家庭血圧管理と糖尿病合併症進展予防
9	浦田 秀造	長崎大学 熱帯医学研究所 新興感染症学分野	構造に基づく新規抗エボラウイルス化合物の探索
10	浦野 友彦	東京大学大学院 医学系研究科 加齢医学講座	ロコモティブ症候群における新規診断法の開発
11	太田 訓正	熊本大学大学院 生命科学研究部 神経化学分野	乳酸菌由来物質による癌細胞リプログラミング機構
12	小川 正晃	自然科学研究機構 生理学研究所 発達生理学研究系 認知行動発達機構研究部門	不確実な報酬に惹き付けられる神経機構の解明
13	小坂田 文隆	名古屋大学大学院 創薬科学研究科 細胞薬効解析学	視覚情報処理におけるアマクリン細胞の役割
14	落合 恭子	東北大学大学院 医学系研究科 生物化学分野	シグナル伝達を介した転写因子機能制御と疾患治療応用
15	笠木 伸平	神戸大学医学部附属病院 臨床検査医学分野	免疫寛容誘導による自己抗原特異的免疫抑制療法の確立
16	片山 義雄	神戸大学医学部附属病院 血液内科	ビタミンDを標的とした骨髄増殖性腫瘍の病態解明
17	香山 尚子	大阪大学大学院 医学系研究科 免疫制御学	Spi-C発現腸管ミエロイド細胞の分化機構解明
18	川内 敬子	甲南大学 フロンティアサイエンス学部 腫瘍分子生物学研究室	がんの物理的環境応答におけるアクチンとp53の役割
19	小出 隆規	早稲田大学 先進理工学部 化学・生命化学科 生物分子化学研究室	3重らせん構造を骨格とするペプチド創薬
20	小松 紀子	東京大学大学院 医学系研究科 免疫学	新規T細胞垂集団を標的とした自己免疫疾患の創薬開発
21	匂坂 敏朗	神戸大学大学院 医学研究科 生理学・細胞生物学講座 膜動態学分野	ヘアピン型タンパク質の膜挿入装置の同定と膜挿入病
22	佐藤 荘	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 自然免疫学	疾患特異的M2マクロファージの機能解析

No.	氏名	所属機関(交付時)	研究テーマ
23	宍戸 恵美子	名古屋大学大学院 医学系研究科 精神医学分野	動作時眼球運動の個人差と発達障害との関係
24	柴 祐司	信州大学 医学部附属病院 循環器内科	移植免疫寛容型サルを用いたiPS細胞による心筋再生
25	鈴木 亮	名古屋市立大学大学院 薬学研究科 生体超分子システム解析学	マスト細胞と抗原親和性特異的浸潤細胞のクロストーク
26	宗 孝紀	東北大学大学院 医学系研究科 免疫学分野	TRAF5とZDHHC15によるT細胞制御機構
27	千葉 奈津子	東北大学 加齢医学研究所 腫瘍生物学分野	BRCA1結合分子OLA1の中心体制御能と発がん
28	津田 誠	九州大学大学院 薬学研究院 ライフイノベーション分野	ATPIによる痒みの神経メカニズムの研究
29	豊島 文子	京都大学ウイルス研究所 細胞生物学研究部門 構造形成学分野	がん細胞のステロイドによる中心体制御機構の解明
30	中台(鹿毛) 枝里子	大阪市立大学 複合先端研究機構	浸透圧ストレス応答におけるグリア/ニューロン機能
31	中村 肇伸	長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 アニマルバイオサイエンス学科 エピジェネティック制御学研究室	全能性細胞で高発現するKlf17の機能解析
32	西山 功一	熊本大学 医学部附属病院 循環器予防医学先端医療 寄附講座	血管新生の新しい解析系の開発としくみの理解
33	西山 伸宏	東京工業大学 資源化学研究所 高分子材料部門	がんの特異的代謝に着目したがん標的化システムの構築
34	任 書晃	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 分子生理学分野	加齢性難聴の克服に資する内耳イオン動態の包括的解析
35	畠山 淳	熊本大学 発生医学研究所 脳発生分野	霊長類の大脳皮質が大きくなった機構の解明
36	濱島 義隆	静岡県立大学 薬学部 医薬品創製化学分野	カルボキラー触媒によるオレフィンの不斉フッ素化
37	林 崇	国立精神・神経医療研究センター神経研究所 病態生化学研究部 細胞生化学研究室	精神疾患原因遺伝子による興奮性シナプスの機能制御
38	深田 優子	自然科学研究機構 生理学研究所 細胞器研究系 生体膜研究部門	シナプス機能障害における自己抗体の探索と病態解明
39	藤田 雅代	東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野	ドーパミン非依存的な運動制御メカニズムの解析
40	古屋敷 智之	神戸大学大学院 医学研究科 薬理学分野	ストレスにおける神経グリア相互作用の分子実体の解明
41	星野 幹雄	国立精神・神経医療研究センター神経研究所 病態生化学研究部	自閉症および限局性皮質異形成の分子遺伝学的研究
42	堀 正士	早稲田大学 教育・総合科学学術院 教育心理学教室	パーキンソン病患者家族の介護負担感に影響する要因
43	丸山 貴司	岐阜大学大学院 医学系研究科 細胞情報学	核内IκBファミリー分子による多発性硬化症の制御
44	南 敬	東京大学 先端科学技術研究センター 血管生物学	血管内皮活性化制御の分子機構システム解析
45	宮塚 健	順天堂大学大学院 医学研究科 代謝内分泌内科学	糖尿病再生医療の実現に向けた膵β細胞新生機構の解明
46	宮成 悠介	自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター 核内ゲノム動態研究部門	核内クロマチン動態を制御する因子の同定
47	村上 智彦	大阪大学大学院 歯学研究科 生化学教室	骨軟骨疾患と炎症の慢性化
48	谷内江 望	東京大学 先端科学技術研究センター ゲノムサイエンス分野	高速タンパク質インタラクトーム同定技術の開発
49	横田 浩章	光産業創成大学院大学 光産業創成研究科 光バイオ分野	DNA修復機構の蛍光1分子イメージング
50	渡辺 匠	微生物化学研究会 微生物化学研究所 有機合成研究部	がん-間質相互作用に働く天然物の生物有機化学的研究

表 3. 平成 26 年度（第 46 回）海外留学補助金受領者一覧（五十音順・敬称略）

氏名	所属機関(申請時)	研究テーマ	留学先
井原 涼子	東京大学大学院 医学系研究科 神経内科学	超早期アルツハイマー病の自然経過と修飾 因子の探索	ワシントン大学セントルイ ス校
國本 博義	慶應義塾大学 医学部医学科 血液内科	忠実度の高いヒト白血病モデルによる新規 治療法の創成	スローンケタリング記念が んセンター
春原 光宏	東京大学 医学部附属病院 呼吸器内科	肺胞上皮の分化及び修復過程の異常に関 する機序の解明	南カリフォルニア大学
住田(今井) 光穂	仙塩病院	癌の転移における微小環境の役割	サンフランシスコ州立大学
多田 智	大阪大学 微生物病研究所 分子免疫制御分野	遺伝子改変幹細胞移植による筋萎縮性側 索硬化症治療	フランス国立保健医学研 究所
塚原 達也	東京大学大学院 理学系研究科 生物科学専攻	嗅覚刺激に対する行動の報酬系依存的調 節の神経基盤	ハーバード大学医学部
恒松 雄太	静岡県立大学 薬学部 生薬学分野	細胞内天然物発現法による新規遺伝子治 療の開拓	ライプニッツ天然有機化合 物研究所
中島 江梨香	The University of Chicago Department of Chemistry Organic Chemistry	チューブリアクターを用いた環境に優しい酸 化反応開発	シカゴ大学
光石 陽一郎	東北大学大学院 医学系研究科 呼吸器内科学分野	非喫煙者肺癌の生物学的事象の解明	ダナファーバー癌研究所
森川 洋匡	大阪大学 免疫学フロンティア研究 センター 実験免疫学	1細胞単位の解析に必要な技術の開発とそ の臨床応用	カロリンスカ研究所

表 4. 平成 26 年度（第 45 回）最優秀理事長賞受賞者（五十音順・敬称略）

氏名	所属機関(交付時)	研究テーマ
中川 勇人	東京大学大学院 医学系研究科 消化器内科	炎症・ストレスによる多重並行ヒットとNASH発癌
西田 基宏	自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター	活性硫黄を標的とした心血管病予防治療法の開発

表 5. 平成 26 年度竹中奨励賞受賞者（敬称略）

氏名	所属機関(交付時)	研究テーマ
丸山 健太	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター	破骨細胞融合阻害活性を持つ液性因子の同定

表 6. 平成 26 年度優秀発表賞受賞者（五十音順・敬称略）

氏名	所属機関(受賞時)	研究テーマ
高橋 弘雄	奈良県立医科大学 先端医学研究機構 脳神経システム医科学分野	嗅覚を用いた脂質代謝異常の治療法の開発
林 悠	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構	レム睡眠の意義の解明
松井 広	東北大学大学院 医学系研究科 新医学領域創生分野	脳虚血神経障害発生メカニズムの解明と光制御の可能性

## 第45回 研究報告会

\*日時：2014年10月18日(土) 11:00~17:30

\*場所：日本工業倶楽部

東京都千代田区丸の内 1-4-6

TEL (03) 3281-1711

総合受付：2階(開場 10:00~)

・研究報告会

第1会場 2F 大会堂 11:00~15:01

第2会場 3F 中ホール 11:10~16:22

第3会場 5F 第六会議 15:19~16:22

・特別講演会 第1会場 13:00~13:20

・受賞講演 第1会場 13:20~13:30

・交流会 第1会場 16:30~17:30

★聴講者およびご発表者の皆様へ★

1. 本財団の規程により、事前に「秘密保持等に関する誓約書」のご提出をお願いします。
2. 総合受付2階大会堂前にてネームカードをお渡しいたしますので、必ずご着用の上、会場にお入りください。
3. クロークは、1F入口にあります。

公益財団法人アステラス病態代謝研究会

2F・第1会場

11:00-11:10 開会の挨拶 理事長 児玉 龍彦					
座長	演題 No.	発表時間	発表者	所属	研究テーマ
笠井 清登	1-1	11:10	福山 征光	東京大学大学院 薬学系研究科 生理化学教室	神経前駆細胞の栄養状態に応答した再活性化機構の解明
	1-2	11:19	菊知 充	金沢大学 子どものこころの発達研究センター	広汎性発達障害の早期診断のための診断システム開発
	1-3	11:28	内田 裕之	慶應義塾大学 医学部 精神・神経学教室	統合失調症・躁うつ病患者のレジリエンス：二国間研究
一條 秀憲	1-4	11:37	西田 基宏	自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター	活性硫黄を標的とした心血管病予防治療法の開発
	1-5	11:46	高野 和儀	千葉大学大学院 融合科学研究科	肥大型心筋症における筋原線維形成の分子機構
	1-6	11:55	林 悠	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構	レム睡眠の意義の解明
堅田 利明	1-7	12:04	廣田 泰	東京大学 医学部 産婦人科	着床における子宮の胚受容能獲得の分子機構の解明
	1-8	12:13	松田 七美	早稲田大学 理工学術院 先進理工学部 生命医科学科 分子生化学研究室	細胞競合による代謝を介した組織恒常性と癌の制御機構
	1-9	12:22	高島 誠司	信州大学 繊維学部 応用生物科学系 生物機能科学課程	新規生殖細胞毒性試験系の開発
12:35~13:00 昼食					
後藤 由季子	13:00~		第1会場	特別講演「日本における循環器疾患治療のエビデンス」 熊本大学大学院生命科学研究部 教授 小川 久雄	
稲葉 俊哉	13:20~			平成25年度 第2回竹中奨励賞 受賞者 熊本大学大学院自然科学研究科 助教 井手上 賢	
中里 雅光	1-10	13:40	後藤 孔郎	大分大学 医学部 内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座	メタボリック症候群の発症予防における脾臓の役割
	1-11	13:49	沖米田 司	関西学院大学 理工学部 生命医科学科 生命化学専攻	閉塞性肺疾患に関わる膜タンパク質の膜発現制御機構
	1-12	13:58	高橋 弘雄	奈良県立医科大学 先端医学研究機構 脳神経システム医科学分野	嗅覚を用いた脂質代謝異常の治療法の開発
小川 佳宏	1-13	14:07	松崎 有未	島根大学 医学部 生命科学講座 腫瘍生物学	E3ユビキチン化酵素を標的とした組織線維化の制御
	1-14	14:16	前島 裕子	福島県立医科大学 腫瘍生体エレクトロニクス講座	オキシトシンによる摂食リズム創出神経経路の解明
	1-15	14:25	土屋 恭一郎	東京医科歯科大学 医学部附属病院 糖尿病・内分泌・代謝内科	内皮細胞の代謝シグナルに注目した臓器機能調節機構
南 雅文	1-16	14:34	竹居 光太郎	横浜市立大学大学院 生命医科学研究科 生体機能医科学研究室	神経障害に対する診断・治療薬の創成
	1-17	14:43	松井 広	東北大学大学院 医学系研究科 新医学領域創生分野	脳虚血神経障害発生メカニズムの解明と光制御の可能性
	1-18	14:52	山中 章弘	名古屋大学 環境医学研究所	投射経路特異的な神経活動操作による情報統合機構解明
15:01~15:19 休憩 <4F喫茶スペース>					
5F・第3会場					
座長	演題 No.	発表時間	発表者	所属	研究テーマ
三輪 聡一	1-19	15:19	槇田 紀子	東京大学 医学部 腎臓・内分泌内科	GPCRシグナル調節機構とその異常による疾患の解明
	1-20	15:28	吉岡 和晃	金沢大学 医薬保健研究域医学系 血管分子生理学分野	血管健全性を維持する新規内皮発現分子の病態生理研究
	1-21	15:37	仲矢 道雄	九州大学大学院 薬学研究院 薬効安全性学	心筋梗塞時における筋線維芽細胞の役割解明
	1-22	15:46	平田 多佳子	滋賀医科大学 生命科学講座(生物学)	リンパ球動態を制御するS1P受容体の内在化機構
山本 一夫	1-23	15:55	岡島 徹也	名古屋大学大学院 医学系研究科	細胞外O-GlcNAcによるNotchシグナル制御
	1-24	16:04	池水 信二	熊本大学大学院 生命科学研究部	IL-23と受容体の構造生物学的認識機構の解明
	1-25	16:13	神沼 修	東京都医学総合研究所 花粉症プロジェクト	遅発型喘息反応のT細胞による新たな発症機構の解明
16:30~17:30 第1会場 交流会 <優秀発表賞受賞者発表>					

3F・第2会場

11:00-11:10						開会の挨拶 理事長 児玉 龍彦 (第1会場にて)	
座長	演題 No.	発表時間	発表者	所属	研究テーマ		
今井 由美子	2-1	11:10	名黒 功	東京大学大学院 薬学系研究科 細胞情報学教室	生体の浸透圧ストレスの受容・応答機構の解明		
	2-2	11:19	鈴木 志穂	東京大学医科学研究所 細菌感染生物学	病原細菌の感染機構および宿主免疫応答の解析		
	2-3	11:28	石津 大嗣	東京大学大学院 理学系研究科 生物化学専攻	機能性小分子RNAによる遺伝子発現抑制機構の解明		
中山 俊憲	2-4	11:37	中川 勇人	東京大学大学院 医学系研究科 消化器内科	炎症・ストレスによる多重並行ヒットとNASH発癌		
	2-5	11:46	古賀 貴子	東京大学大学院 医学系研究科 免疫学教室	免疫グロブリンによる骨粗しょう症のメカニズム		
	2-6	11:55	丸山 健太	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター	破骨細胞融合阻害活性を持つ液性因子の同定		
佐々木 雄彦	2-7	12:04	平原 潔	千葉大学大学院 医学研究院 先進気道アレルギー学寄附講座	慢性真菌感染症を呈する免疫疾患の新規治療標的の同定		
	2-8	12:13	柏田 正樹	自治医科大学大学院 医学研究科 生化学講座 病態生化学部門	概日リズムとアレルギー性疾患発症機構のクロストーク		
	2-9	12:22	河合 太郎	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 分子免疫制御	自然免疫による内在性因子認識と炎症誘導シグナル伝達		
12:35~13:00			第1会場	昼 食			
後藤 由季子	13:00~			特別講演「日本における循環器疾患治療のエビデンス」 熊本大学大学院生命科学研究部 教授 小川 久雄			
稲葉 俊哉	13:20~			平成25年度 第2回竹中奨励賞 受賞者 熊本大学大学院自然科学研究科 助教 井手上 賢			
井上 将行	2-10	13:40	高橋 秀依	帝京大学 薬学部 有機化学研究室	アミド及びウレアの軸不斉の解明と創薬への応用		
	2-11	13:49	森本 善樹	大阪市立大学大学院 理学研究科 物質分子系専攻	複雑な分子の創薬開発を可能にする分子技術の創出		
上杉 志成	2-12	13:58	國信 洋一郎	東京大学大学院 薬学系研究科 有機合成化学教室	医薬品合成を志向するC-H結合CF3化反応の創出		
	2-13	14:07	塚崎 智也	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科	細菌における外膜蛋白質を形成させる分子装置の解明		
藤井 信孝	2-14	14:16	森田 洋行	富山大学和漢医薬学総合研究所	植物ポリケチド合成酵素へのアミノ酸欠損変異の導入		
	2-15	14:25	菊地 晴久	東北大学大学院 薬学研究科	天然抽出物の直接化学変換による新規化合物群の創出		
	2-16	14:34	有田 恭平	横浜市立大学 生命医学研究科	エピゲノム情報の統合機構の構造生物学的基盤		
若槻 壮市	2-17	14:43	池ノ内 順一	九州大学 理学研究院 生物科学部門	上皮細胞特異的な脂質分子種の機能解析		
	2-18	14:52	半田 浩	国立国際医療研究センター研究所 分子炎症制御プロジェクト	結核菌感染下での免疫抑制レセプターの役割と機能解析		
15:01~15:10			休 憩 < 4F喫茶スペース >				
竹居 孝二	2-19	15:10	大塚 文男	岡山大学大学院 歯薬学総合研究科 総合内科学	BMPIに着目した新たな生殖内分泌調節機構とその応用		
	2-20	15:19	坂根 亜由子	徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス 研究部 分子病態学分野	癌細胞の運命を決める細胞形態のスイッチングのしくみ		
大谷 直子	2-21	15:28	大木 理恵子	国立がん研究センター研究所	PHLDA3は内分泌腫瘍の新規がん抑制遺伝子である		
	2-22	15:37	小布施 力史	北海道大学大学院 先端生命科学研究院 生命機能科学研究部門	DNA損傷応答におけるヘテロクロマチン因子の役割		
	2-23	15:46	柴田 淳史	群馬大学 先端科学研究指導者育成ユニット	抗腫瘍免疫応答増強へ向けたDNA損傷応答の解析		
稲葉 俊哉	2-24	15:55	甲斐田 大輔	富山大学 先端ライフサイエンス拠点	mRNAスプライシング異常による発がん機構の解析		
	2-25	16:04	三浦 恭子	北海道大学 遺伝子病制御研究所 動物機能医科学研究室	ハダカデバネズミの超老化耐性・がん化耐性機構の解明		
	2-26	16:13	福田 晃久	京都大学医学部附属病院 消化器内科	膵臓がんにおけるクロマチンリモデリングの役割		
16:30~17:30		第1会場		交 流 会 < 優秀発表賞受賞者発表 >			

# 公益財団法人アステラス病態代謝研究会

## ＊＊ご発表者の方へお願い＊＊

1. 発表時間：7分 討論時間：2分（時間厳守願います。）

### 2. 発表形式

PCアプリケーション：PowerPoint、Keynote（MAC）

- PCは会場にご用意します。ファイルを保存したUSBメモリ、CD-ROMをご用意ください。ただし、動画の貼り付けがある場合は、ご自身のPC本体をご用意ください。
- 事前にPowerPointデータは、作成に使用されたPC以外で再度チェックされる事をお願いします。（フォントはOSに入っている標準フォント）
- 発表用と同等のPC機種を試写確認用として、会場にご用意します。

受付前に必ずファイル動作および文字化け等の確認を行ってください。

3. 発表時間45分前までには、内容確認後のUSBメモリ等を4階メディア受付にご提出ください。

4. 前演者の発表開始時（10分前）には、次演者席にお着きください。

会場レイアウト図

